

回覧

# かばく"るま



ジュニアリーダーサマーキャンプ

開成町青少年指導員連絡協議会

会長 田村彰偉

日頃より、青少年指導員の活動にご理解、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

昨年5月からコロナが5類に移行し、社会生活や日常生活の行動制限がなくなったことにより、青少年指導員の活動やイベントを以前のような形で開催できるようになりました。

子どもたちもジュニアリーダーサマーキャンプやジュニアリーダー研修を楽しみにしていたようで、募集人数を超える申し込みがありました。参加したい子どもたちがこんなにたくさんいるのであればということ、なんとか希望者全員が参加できるように調整し、多くの子どもたちに体験活動の場を提供できたことはよかったです。

また、もうひとつの大きなイベントである中学生地域交流ゲートボール大会は、今回で40回目を迎えました。この大会は中学生がゲートボールを通して、各地区の皆さんとの交流を深める役割も果たしていましたが、40回という節目で一旦終了することにしました。長年にわたり開催できたのは、大会に参加してきた選手や育成会、関係者の方々、そして、審判を務めていただいた開成町ゲートボール連合の皆様のおかげです。また、日本製紙クレシア株式会社開成工場様には、毎回参加賞を提供していただきました。本当に長い間ありがとうございました。今後も、中学生と地域の方が交流できるような新たなイベントを検討していきます。

来年度も引き続き、子どもたちが楽しんで参加し、いろいろな体験ができるようなプログラムを企画していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

# ジュニアリーダーサマーキャンプ 7月

7月8日(土)～9日(日)の1泊2日で、小学5年生から中学3年生を対象に、ジュニアリーダーサマーキャンプを実施しました。場所は、御殿場市にある「国立中央青少年交流の家」。小学生46人、ジュニアリーダー3人、青少年指導員14人、事務局1人の総勢64人が参加しました。

1日目は、朝8時に開成町役場に集合し、バスで移動しました。バスの中では、おしゃべりしながら楽しんでいました。

現地に着き、まずは昼食の焼きそば作りです。班ごとに、調理器具や食材、薪、新聞紙などを準備し、食材を切るグループと火をおこすグループ



に分かれ、キャベツ、ニンジン、玉ねぎを切り、薪と新聞紙で火をおこしたりと、班員同士で協力し合い、おいしい焼きそばができました。



午後からは、ディスクゴルフの予定でしたが、雨が降ってきてしまい、シャッターチャンスというレクリエーションを実施しました。このゲームは、お題を決めて、みんなまで体を使って表現し、そのお題を当てるというチーム対抗のゲームです。お題を決めるのに苦労していましたが、みんなでワイワイ考え、盛り上がっていました。



夕食は、カレーライス作りです。こちらも昼食同様、みんなで分担し、ニンジン、ジャガイモ、玉ねぎを切り、おいしいカレーライスができました。自分たちで作ったごはんは「おいしい」と言って、みんな残さず食べていました。





夕食後は、キャンプファイヤーの予定でしたが、あいにくの雨でキャンプファイヤーへ変更しました。火の神から友情の火を分けてもらい、キャンプドルに火をともしました。子どもたちが8つのグループに分かれて企画したレクリエーションでは、〇×ゲームやクイズ、じゃんけん、だるまさんの1日などのゲーム



を行いました。最後にみんなでジェンカを踊りました。その後、順番にシャワーを浴び、アイスを食べ、22時消灯で野外テントに宿泊しました。雨、風の音が気になりました。眠れない子どもたちもいましたが、いい経験になりました。

2日目は、朝6時起床で、パン、ソーセージなどの朝食を食べ、寝袋とシーツをたたみ、荷物を整理し、テント内を掃除しました。

少し雨が降っていましたが、9時には昼食のお弁当を持ち、ウォーキングで御胎内清宏園へ行き、国指定天然記念物である印野の溶岩隧道「御胎内」の洞窟探検をしました。洞窟の中は、ひんやりして狭く、体や頭をぶつけないよう

に注意しながら、体を縮め、通つてきました。子どもたちはおもしろかったみたいで、2回、3回と洞窟に入っている子どももいました。

次は、樹空の森までウォーキングし、そこで昼食のお弁当を食べ、少し遊び、国立中央青少年交流の家まで帰ってきました。かなりの距離を歩いたので、みんなへとへとに疲れていましたが、最後まで歩いた達成感を得ることができました。歩いた場所の周り



が自衛隊の訓練場なので、大砲の音が聞こえたり、戦車もすぐ横を通つたりしました。子どもたちが手を振ると、自衛隊の人も笑顔で手を振り返してくれました。

この2日間で、普段できない経験ができたことは、子どもたちが成長する過程で欠かせない財産です。今後も、子どもたちの体験活動の場を作っていきます。



「楽しかったサマーキャンプ」  
開成南小学校5年  
谷悠一郎さん

ぼくが一番キャンプで楽しかったことは、野外炊事です。みんなできに火をつけたり、野菜を切ったりしたからこそ、いつもよりとてもおいしいごはんになりました。とくにポークカレーがとてもおいしかったです。お米をたたくとき、火が弱すぎて全然ふつとくしませんでした。うちわであおぐと目にけむりが入ってきてとても痛かったです。だからこそとてもおいしいカレーになりました。

ほかに、キャンプファイヤーが雨でできなかったとき、キャンプドルファイヤーになり、室内でやることになりました。でも、みんなの出し物をやっているうちにこの悲しさもなくなってきました。

ぼくは来年も行こうと思っています。そこで、一度の経験者として、火のつけ方を上手になつたり、出し物のレベルを上げたりして、来年のジュニアリーダーサマーキャンプを盛り上げたいと思います。

ジュニアリーダー研修 11月

11月19日(日)、ジュニアリーダー研修は120年振りの竹の花で賑わった瀬戸屋敷で行われました。

午前中は開成町産の新米のおにぎりと、肉と野菜たっぷりのお汁を作って食べました。人数分の食事を用意するのはひと仕事、子どもたちは大奮闘でした。おにぎりは、五升ものお米をとき、火吹き竹を使ってお釜で炊きました。お汁は、大鍋いっぱいのおんじんとダイコンを切り、小さな手で弥一芋を一生懸命むきました。焼きマシユマロをビスケットで挟んだおやつは格別でした。

午後のウォークラリーは、前日の寒さがうそのような秋晴れでした。開成町に住んでいながら、初めて歩いた道もありました。地図とにらめっこしながら、遠目に富士山を眺め、田園風景の一本道で談笑した1時間でした。  
あつという間に終了の時間になりました。次回また会いましょう。



参加した子どもたちの **ひとこと** 感想

またジュニアリーダー研修に行って、いろいろな子と仲を深めたいです。  
小林 愛桜さん

野菜を切った時にじょうずと言われてうれしかったです。  
込山 諒さん

自分でたいたお米は、いつもよりとてもおいしかったです。  
安田 真菜さん

ほかの子となかよく話せました。  
加藤 美心さん

かまどでのお米作りは、ほとんど見ているだけだったけど見て楽しかったです。  
原 桃花さん



また、このような機会があったら、参加したいです。  
松永 芽依さん

身近なのに自分の知らない場所でも、楽しめました。  
伊藤 幸太さん

ごはんをたいたり、みんなで食べたりしたから楽しかったです。  
鴨志田 耀太さん

ふだんはしない、しんせんな体験をして楽しかったです。  
平井 遥香さん

ウォークラリーで自分で道が分ると楽しかったです。  
長嶋 翔永さん

# 中学生地域交流ゲートボール大会 8月



8月6日(日)、文命中学校グラウンドで第40回中学生地域交流ゲートボール大会を開催しました。コロナ収束後4年ぶりに開催された大会には、ゲートボール連合の皆さんの指導のもと各地区で練習を重ねた中学生5チームをはじめ、町議会議員、文命中学校教職員、青少年指導員チームが参加しました。

大会は白熱した試合が展開され、各チームとも練習の成



果を發揮しました。試合は降雨により、残念ながら予選リーグの途中で中止になってしまいました。中学生の皆さんは最後までやりたがっていました。

ゲートボール大会は今大会で最後になりますが、また違った形で地域の皆さんと中学生が交流できる場を作れるようそれぞれに働きかけていきます。



# 夜間パトロール

今年度も文命中学校おやじの会の皆さんと連携し、公園、駅前、広場、コンビニエンスストア周辺等の夜間パトロールを実施しました。

コロナ後、開成町周辺で夜間に外出する子どもたちは少なくなっている印象があります。とは言え、子どもたちが巻き込まれてしまう事件がなくなるわけではありません。

パトロールには大切な宝である子どもたちを犯罪、トラブル、事故等から守る役割があります。これからも各種団体や地域の皆さんと連携し、子どもたちの健全な育成、そして安心安全へ導けるように、みんなで一緒に力を合わせて見守っていきましょう。ご家庭でもご協力お願いします。

## 「大会を振り返って」

開成町ゲートボール連合  
会長 内藤徹男さん



中学生地域交流ゲートボール大会が毎年8月に行われてきましたが、令和5年の40回の節目で幕を閉じることになりました。この大会は、町の青少年指導員連絡協議会と教育委員会が主催で、開成町ゲートボール連合は協力させていただきました。

地域ごとに行われる大会前の練習では、その地域に所属するゲートボール連合の会員が、監督・指導に当たりました。生徒数が多いときは、1地区2~3チームが参加したこともありました。

本番の大会で感じたことは、選手自身が考えて打球したり、監督の指示方向に打球したりするときの真剣に取り組んだ姿です。成功したり、失敗したり、応援する方も一喜一憂し、声を出したり、拍手したりして大変盛り上がったことが印象に残っています。炎天下での練習や大会を通して、選手の皆さんもきっと思い出に残ることがあったと思っています。

### 一声人声

コロナウィルス感染症の位置付けは、令和5年5月8日から「5類感染症」に変更され、行動制限がなくなり、子どもたちは夏休みや冬休みをいつものように楽しんだことでしょう。行事も予定どおり実施することができて、子どもたちの笑い声をたくさん聞くことができました。



手づくり広場 かざぐるま作り 6月



6月10日(土)、コロナ5類移行後初めてのあじさいまつりは、満開のアジサイで初日を迎えました。青少年指導員は手作り広場「かざぐるま作り」を開催し、かざぐるまは4枚羽と8枚羽を準備しました。8枚羽を作る指導員が少なく、協力して教え合いながらのスタートでした。



かざぐるま作りは、指導員が丁寧に説明し、できない部分をサポートしました。組み立てたら、スプレーで色付けします。同じかざぐるまは一つもなく、色鮮やかなかざぐるまに多くの人の笑顔が咲いていました。毎年来てくれる人、かざぐるまを目に留め来てくれた人、子どもから大人まで、あつという間に長い行列ができ大盛況でした。

そのような多くの来場者に対応するため、当日は大学生のジュニアリーダーと青少年指導員のOBも応援に駆けつけてくれました。さまざまな人がかざぐるま作りをとおしてつながっています。

募集しています！ジュニアリーダー

青少年指導員事業をお手伝いしてくれる中学生から大学生までのジュニアリーダーを募集しています。現在、高校生や大学生がサマーキャンプ、ジュニアリーダー研修など、子どもたちと一緒に楽しく活動しています。興味がある方はご連絡ください。



かざぐるま作りの指導をするジュニアリーダーの磯口龍平さん(大学生)

教育委員会生涯学習課 ☎84-0325

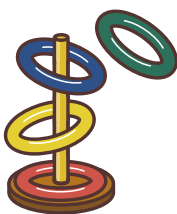
表彰  
おめでとう

「神奈川県青少年育成活動推進者表彰」  
並木 浩さん



朝方の雨も止み、暑さも和らいだ10月2日(日)、開成水辺スポーツ公園でかいせいスポ・レクフェスティバル2023が開催されました。青少年指導員は輪投げを担当しました。たくさん子どもたちが集まり大変盛り上がりました。保護者も子どもと一緒に楽しんでそこにチャレンジしていました。

スポ・レクフェスティバル  
10月



編集後記

今回から紙面をカラーにし、子どもたちの声や写真を多く掲載しました。イベントでの楽しい様子が伝わったでしょうか。楽しい企画をたくさん考えて、子どもたちの明るい声が聞こえて来る、そんな行事ができるようにしたいですね。今後も皆様のご協力をお願いします。